

私たちは、製品による環境への貢献の他に、事業活動における環境負荷低減の側面からも環境保全に取り組んでいます。事業活動では、製造における各工程でのエネルギー使用量の削減や再生可能エネルギーの活用、廃棄物の3R\*推進に取り組んでいます。また、生産拠点を中心とした15拠点ではISO14001の認証を取得しています。環境マネジメントシステムの効果的な運用を通じて、環境トラブル発生防止や各種法令の遵守に加え、環境負荷の低減を図り、持続可能かつ地球環境と調和した経営活動を推進します。

\*3R:リデュース・リユース・リサイクル



C S R  
重要課題 2

# 環境保全

## 全製造所で連携しCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組む

**松葉** 八尾製造所は長年にわたり省エネルギー活動に取り組んでおり、2023年度も焼鈍炉や脱臭装置の運用見直しなどで省エネルギーを推進しました。しかし、東洋アルミグループのCO<sub>2</sub>排出量削減目標である2031年度40%削減(2013年度比)を達成するためには継続して新しい対策が必要です。省エネルギー活動は、未来を担う子どもたちへの貢献であるとともに、エネルギーコストの削減で会社の利益にも貢献できます。それが私たちの大きなモチベーションになっています。OKR共有会や製造所を超えた横串活動で各製造所の設備スタッフや製造スタッフが密接に連携し、アイデアを共有し、助け合いながらCO<sub>2</sub>排出量削減とコスト削減に取り組んでいます。山本さんとは同期であり相談しやすい、省エネルギー活動についてよく議論しています。

**山本** 2023年4月に茅ヶ崎製造所へ赴任後すぐに製造所内巡回パトロールを行い、必要のない時間帯の空調や換気設備を停止するなどの省エネルギー施策を行いました。その結果、年間約600トンのCO<sub>2</sub>排出量の削減を達成できました。茅ヶ崎製造所2工場のうち、これまでは矢畑工場で省エネルギー活動を行っていましたが、2024年度からは萩園工場にも活動を展開していきます。さらに、以前勤務していた群馬製造所で大きな省エネルギー効果があった印刷機の乾燥オープン給排気最適に取り組んでいます。茅ヶ崎製造所は生産品種の構成の変更があったことから、今後8年間でCO<sub>2</sub>排出量を40%削減しなければなりません。非常に高いハードルですが、諦めるのではなく「新たな歴史をみんなで創るんだ」と、製造所が一丸となって挑戦していきます。



箔事業本部  
八尾製造所ユニット  
設備チームリーダー  
松葉 真



箔事業本部  
茅ヶ崎製造所ユニット  
設備チームリーダー  
山本 大介

## 国内初! グリーンアルミを使用したアルミホイル サンホイル®

東洋アルミエコープロダクツ(株)では、サンホイル®ブランドにおいて、再生可能エネルギーを活用して製造されたアルミニウム原料「グリーンアルミ」の使用を2023年10月より開始しています。これにより、従来品と比べて、原材料調達から製造まで一連の工程でのCO<sub>2</sub>排出量を削減しています。今後もサンホイル®ブランドは、いつでも・どこでも・誰でも心地よく使うことができるスタンダードブランドとして、使いやすさと品質、そして環境にこだわり続けます。



## 容器変更による危険廃棄物発生量の低減

近年、中国の環境保全政策がより厳しくなり、危険廃棄物処理の条件も引き上げられました。そこで肇慶東洋鋁業有限公司では、シリカ処理アルミペースト製品で使用する原材料添加剤のガラス瓶(500ml/本)は、使用後に危険廃棄物処理を施す必要があります。しかしこれを繰り返し使用できるプラスチック容器(25kg/容器)に変更したことにより、2023年度の危険廃棄物発生量は年間目標の12.2kg/tを大きく下回る8.12kg/tまで削減させることができました。



改善前: 使い捨てのガラス瓶

改善後: 再利用可能なプラスチック容器

## チーム対抗節電イベント

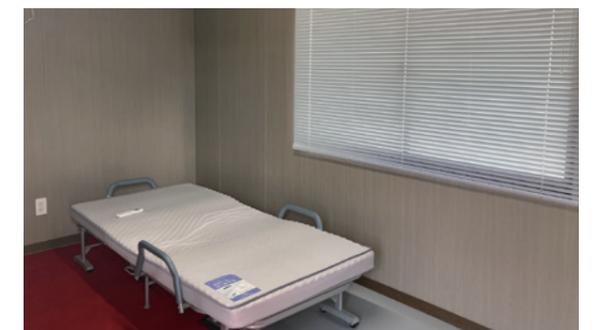
従業員一人ひとりの省エネルギー意識向上を目的として、日野製造所では、全従業員が気軽に参加できるチーム対抗形式での節電イベントを開催しました。イベントでは省エネルギー提案やエア・窒素漏れ箇所発見などを点数化して競い、最後には表彰も行いました。イベントを通して従業員一人ひとりの省エネルギー活動への意識を向上させるとともに、これらの活動がCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献できるという達成感につなげることで、省エネルギーに対する「難しい」「面倒だ」という意識の払拭に努めました。



節電イベントで電力使用量が削減した窒素発生装置

## 運送会社とのCO<sub>2</sub>排出量削減活動

業務委託を行っている運送会社では、大阪を出発して関東地区にある当社の拠点を複数回り、また大阪に帰還するという長距離路線を所有しています。これらの路線を運行する中で、ドライバーの休憩時などのアイドリングによるCO<sub>2</sub>排出量は、2.5t/月であることが分かりました。アイドリングの削減を図るため、当社では各拠点にドライバーの休憩所を設置し、2024年3月1日より稼働を開始しました。これらの取組みを通じ、年間で約30tのCO<sub>2</sub>排出量を削減することを目標に掲げています。



群馬製造所の休憩所